

News Release

平成 21 年 5 月 29 日

株式会社日本政策投資銀行

代表取締役社長 室伏 稔

(株)ユニゾーンに対し、環境格付に基づく融資を実施 ～北陸 3 県で初の環境格付利子補給制度を適用～

株式会社日本政策投資銀行（社長：室伏稔、以下「DBJ」という）は、(株)ユニゾーン（代表取締役：梅田ひろ美）に対し、株式会社北陸銀行（頭取：高木繁雄）と協調し、環境格付融資を実施しました。

「DBJ 環境格付」は、DBJ が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により、企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、特典に応じて 3 段階の適用金利を設定するという、「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資制度です。

(株)ユニゾーン（以下、「当社」という）は、富山県に本社を置くめっき事業者です。

今回の融資は、当社が本社工場横に建設した無電解ニッケルめっき工場（第八工場）に係る設備投資であり、汚泥発生量を従来比 3 割程度抑えた排水処理設備や二酸化炭素排出量を抑えた蒸気ボイラなどを対象とするものです。

当社は環境方針に「環境汚染の防止と環境負荷の低減」を掲げており、事業活動における環境影響を特定し、適切に対応するという環境経営を着実に実践しています。今回の評価においては、(1) 独自の「環境影響評価規定」による定性評価に基づき、必要な対策を想定し、環境目標に反映させる形で進められており、特に、ユーザーの要請に応じてクロムや鉛含有物質などの使用撤廃を進める化学物質管理について大きな成果を上げていること、(2) 平成 19 年に全社での ISO14001 認証取得に伴い、全社環境実施計画の実行体制が更に強化されていること、等を高く評価しました。

地球温暖化対策が世界共通の懸案事項になっている現状を踏まえ、DBJ は平成 19 年度から環境格付の新たなオプションとして、「環境格付利子補給制度」を創設しました。本制度は、「DBJ 環境格付」を取得し、かつ、「原単位当たり CO2 排出量」を 5 年以内に 5%以上削減すると誓約した企業に対し、地球温暖化対策資金に係る貸出金利を 1% 優遇するものです。今回、平成 17 年 9 月に引き続き、2 回目の「DBJ 環境格付」を取得した同社は、上記誓約締結に合意したことから、DBJ は同社が行う地球温暖化対策資金に係る貸出金利を優遇しました。なお、本件は北陸 3 県で初の環境格付利子補給制度の適用案件となります。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客さまの信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客さまの取り組みを積極的に支援して参ります。

【お問い合わせ先】

北陸支店 業務課 電話番号 076-221-9875